

東京外国為替市場委員会 第 240 回会合 議事録

開催日時 2021 年 4 月 7 日 電話開催
議 長 中村 直人
副 議 長 大澤 孝元
副 議 長 金戸 正登
書 記 原 俊太郎
出席者 26 名

I. 役員・委員の交代

中村議長より、川口副議長および塚田委員から退任の意思が示された旨報告があり、了承されました。中村議長より、金戸氏が副議長に、山本氏が委員に、それぞれ立候補する意思を示した旨報告があり、全会一致で了承されました。

II. 委員の再任

中村議長より、五日市氏の委員としての任期が満了することが報告されました。同氏から、委員に再び立候補する意思が示され、全会一致で了承されました。

III. GFXC 会合のフィードバック

原書記より、3 月開催の GFXC の模様につきフィードバックがありました。まず、コードの見直し作業は、当初スケジュール通り、本年 6 月末の締切りに向けて進捗していることが報告されました。また、各論点に対する東京市場委員会からのコメントは、広く GFXC に受け入れられたことが示されました。ラストルック等の市場慣行に係る一部の論点については、引続き幅広く市場の意見を収集する必要性も示された旨、報告がありました。最後に、バイサイドアウトリーチ活動に関する本邦からの提案は、広く支持を集めた結果、今後の GFXC 会合の議事運営等にも活用される予定である旨、報告がありました。

IV. フォレックスセミナー運営等における電子化

高山委員より、主にフォレックスセミナーにおける連絡手段や広報活動を電子化するにあたっての作業が進捗している旨、報告されました。具体的には、Eメールでの連絡体制構築に向けて、ドメイン取得等に係る関連作業が概ね完了した旨、報告されました。

V. 臨時オペレーション小委員会の活動

星野委員より、ファックス業務等の現行のオペレーションを見直す臨時小委員会について進捗の報告がありました。具体的には、他法域におけるオペレーションの現状を把握するサーベイの結果をまとめ、課題解決に向けた活用を検討している旨が報告されました。また、当委員会の活動に関連して、ファンド為替PVP化の進展について、当初想定よりも遅延がみられることから、改めて課題の洗い出しを行う必要性等が報告されました。

VI. コンプライアンス関連対応の強化

五日市法律・コンプライアンス小委員長より、フォレックスクラブの会則について、コンプライアンス対応強化の観点から、自主ガイドライン文案を作成およびブラッシュアップしている旨が共有されました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (4月7日現在)

<委員>

議長・BCP小委員長	○中村 直人	(三菱UFJ銀行)
副議長・Eコマース小委員長	○大澤 孝元	(バークレイズ銀行)
副議長	○金戸 正登	(みずほ銀行)
書記	○原 俊太郎	(日本銀行)
運営小委員長	○山本 崇	(三菱UFJ信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBSデイトリングリソースジャパン)
法律・コンプライアンス小委員長	○五日市 知之	(三井住友信託銀行)
教育小委員長	○高山 典大	(野村証券)
市場調査・バイサイド小委員長	○石橋 優	(三井住友銀行)
	○星野 昭	(シティグループ証券)
	○林 大樹	(JPモルガン・チェース銀行)
	○十時 潤一郎	(上田東短フォレックス)
	○宗川 雄視	(リフィニティブ・ジャパン)
	○宮崎 誠	(CLS)
	○好川 弘一	(NAB証券)
	○岩崎 拓也	(バンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイ)
	○大熊 貴之	(野村アセットマネジメント)
	○桑野 貴	(ゴールドマン・サックス証券)
	○井上 裕嗣	(BNPパリバ銀行)

<準委員>

	○伊藤 祐介	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
	○小柳 徳明	(三菱UFJ銀行)
	○田中 潤平	(みずほ銀行)
	○中野 琴音	(バークレイズ銀行)
	○内山 祐樹	(三井住友銀行)
	○塩原 遵	(日本銀行)

<オブザーバー>

	○長谷川 実	(財務省)
--	--------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。